

## 危機管理産業展（RISCON）2025への出展参加報告

2025年10月1日(水)から3日(金)に東京ビッグサイト西ホールで開催された「危機管理産業展(RISCON)2025」に、会員5社のご協力を頂き、出展参加しました。

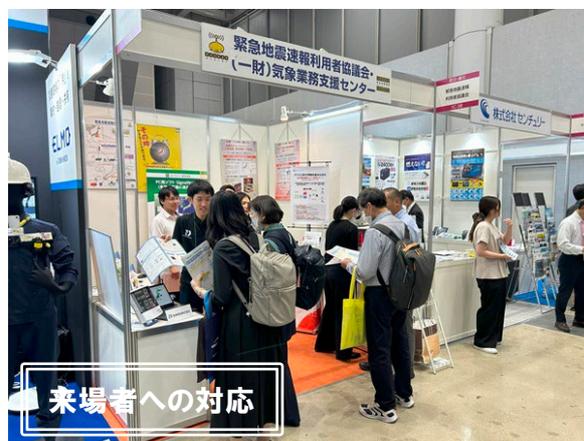
危機管理産業展は「防災・減災」、「BCP・事業リスク対策」、「セキュリティ」の主要3分野を柱に、さまざまな課題やリスクに対応する『危機管理』トレードショーとして開催され、21回目を迎えています。さらに今回は、危機管理シーンにおける無人化技術の活用「危機管理ドローン・ロボット」、近年増加しているサイバー攻撃への対応「サイバーセキュリティソリューション」、そして持続可能なまちづくり「スマートセーフシティ」の3つもテーマに設定されました。



南海トラフ地震などの巨大地震や大雨など激甚化する自然災害、不安定な状況が続く国際情勢などを背景に、生活やビジネスのあらゆる場面でリスクへの備え、危機への対応が求められる中での開催でした。10月に入り、この夏の猛烈な暑さも少し和らいだ中の開催で、入場者は19,622人(速報)と昨年とほぼ同数でした。しかしながら、専門セミナーでは事前予約で満席となるものが多く、空きスペース(ブース)が見受けられたコロナ以降とは異なり、出展者、来場者ともに今回の危機管理産業展に高い関心を持って参加されていたと想像します。

協力の5会員には、各社の得意とする機器の展示、「緊急地震速報利用の手引き」の配布などで、緊急地震速報の普及・啓発に努めてもらいました。各社での商談につなげて頂ける展示の機会となったものと期待しています。

開催の前日から展示物の搬入・設置、開催期間中の説明者の派遣など、ご協力頂きました5会員の皆様方へは深く御礼申し上げます。



来年は2026年9月30日～10月2日に、東京ビッグサイト南展示棟の全館を使い、規模を拡大しての開催が予定されています。引き続き多くの会員の皆様のご協力を頂き、「緊急地震速報」の普及・啓発に努めるとともに、高い確率で発生が予測されている「南海トラフ地震」や「首都直下地震」「日本海溝・千島海溝沿いの地震」などの巨大地震への緊急地震速報の活用を促す取組を進めてまいります。

○参加会員：(株)IIJ エンジニアリング様／(株)ANET 様／ストラテジー(株) 様／  
南海電設(株)様／(株)ミエルカ防災様

©緊急地震速報利用者協議会事務局